

Pioneer

取付説明書

通信ドライブレコーダーユニット

TMX-DM02-VA

お車への取り付けは、必ずこの取付説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガ、正しくサービスが提供されない原因となる場合があります。この場合は、製造元では一切の責任を負いかねます。

また、端末の取り付けに際し、次のことを必ず確認してください。

- 端末を取り付けるお車を平たんで安全な場所に駐車していること
- 端末が通信圏内であること
- 本書の説明を確認すること

はじめに

安全上のご注意

端末について

初期動作確認

付録

目次

はじめに

本書の見かた	3
--------------	---

安全上のご注意

安全上のご注意	4
利用上のご注意	9

端末について

各部の名称と主な働き	11
ホーム画面に表示される アイコンについて	13
ステータス LED・正面ボタン LED の 表示について	15

初期動作確認

端末を取り付ける	16
取り付ける前に知ってほしいこと	16
・ 取り付け指定位置について	18
接続図	20
端末の取り付け方	22

付録

商標・著作権	26
主な仕様	28
電波に関するご注意	30

本書の見かた

表記	意味
⚠ 警告 / ⚠ 注意	取り扱いで注意していただきたいことや、端末の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
💡 メモ	操作するうえでのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
【○○】	操作に使用する端末のボタンを表します。
[○○]	端末の画面に表示される選択項目を表します。
→ P.XX の「○○」 (→ P.XX)	参照していただきたい箇所を説明しています。 P.XX：参照箇所のページ 「○○」：参照箇所のタイトル

はじめに

- 本書では、microSD メモリーカードおよび microSDHC メモリーカードを総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本書では、通信に必要な電波強度を満たしている場所を「通信圏内」、満たしていない場所を「通信圏外」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例、メッセージの内容は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときに及ぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。



警告

「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。



注意

「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行っていただく強制の内容です。

内蔵バッテリーに関するご注意



危険



禁止

火の中への投入や火気に近づけたり、加熱したりしない

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

直接叩くなどして強い衝撃を加えない

変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。

指定以外の電池は使用しない

電池の破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となります。

警告



強制

電池の液もれが発生した場合は

皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、きれいな水で洗った後、ただちに医師にご相談ください。

接続・取り付け

警告



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。
前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源ケーブルの被膜を切って、他の機器の電源を取るなど、分岐配線をしない

電源ケーブルの電流容量がオーバーし、ケーブルが過熱して、火災や感電、故障の原因となります。

ケーブル類は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、一度剥がしたものをそのまま再び貼り付けたり、汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やケーブル類が剥がれて、事故の原因となります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズが付いている場合があるため、保護回路が動かなくなり、火災の原因となります。



強制

必ず付属の部品を使用し、説明書に従い確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。
車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

小物部品や microSD カードは、乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

注意



禁止

ヒーターの熱風が直接あたらないように吹き出し口の方を調整する
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

端末を取り付け指定位置以外のところに取り付けない
落下などの原因となることがあります。

雨が吹き込むところや水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには
取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となるこ
とがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は運転中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車して
から操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

端末本体および内蔵バッテリーを液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意
ください。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態
で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

通気孔や端子部分などから端末内部に異物を入れない

金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでく
ださい。発煙・発火・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭で
はご注意ください。

引火性ガス（プロパンガス、ガソリンなど）の発生するような場所では、
電源を切り、使用しない

引火・爆発の原因となります。

船舶、航空機、バイク、登山で使用しない

位置誤差が生じたり、電池がなくなったりして、機能が正常に使用できず事故
の原因となります。また、塩害などにより発熱、破裂、発火の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、端末やケーブル類に触れない

落雷による感電の危険性があります。

警告



分解禁止

端末本体および内蔵バッテリーを分解や改造しない
交通事故や火災、感電の原因となります。



禁止

風呂場、シャワー室や調理台、加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所で使用しない
火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

安全上のご注意

注意



禁止

キャッシュカードやフロッピーディスクなどを端末に近づけない
磁気データが消去されることがあります。



強制

端末をダッシュボードの上に放置しない

変形、電池の破裂、液もれの原因となることがあります。

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

電源オン時はボリュームに注意する

電源オン時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



注意

温度の上昇に注意する

端末は、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

電源ケーブルに関するご注意

警告



禁止

船舶などの直流（DC）電源には接続しない

火災の原因となります。

ケーブルや端子部を傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりしない

ケーブルや端子部が破損し、火災・感電の原因となります。

濡れた手で（電源）プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

他の電気製品には使用しない

付属の電源ケーブルは、端末のみで使用することを目的とした専用品です。

他の電気製品で使用情况、発熱により火災・感電の原因となります。

端末に付属のもの以外は使用しない

他の電源ケーブルを使用した場合、端末の本来の性能が出ないことや、電流量不足による発熱により火災・感電の原因となります。



強制

電源プラグはきれいにしておく

電源プラグの端子、および付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

注意



禁止

プラグを抜くときは、ケーブルを引っ張らない

ケーブルが破損し、発熱・火災・ケガ・感電の原因となることがあります。



強制

使用しないときや、お手入れのとき、移動させる場合はプラグを抜く

発熱・火災・ケガの原因となることがあります。

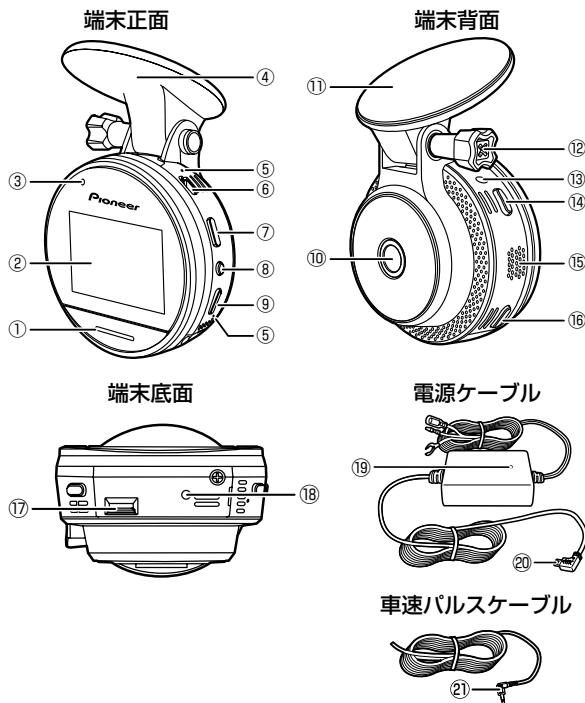
利用上のご注意

- 取付説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、製造元は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合などは保証の対象外となりますので正しくご利用ください。
- 分配機などを使って接続する場合には、お客様の判断・責任のもとで行ってください。
- お車のエンジンを切った状態では、一部の機能はご利用いただけません（お車のエンジンを切っても端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車等）を除く）。
- 端末を取り付けると、お車のサンバイザーに干渉する場合があります。
- 端末の表現する全ての機能は、周囲の安全を保証するものではありません。必ず実際に目視で安全を確認しながら運転してください。
- 端末の取り付け位置や周辺の電装機器によっては、双方の動作に影響が出る場合があります。
- 重大事故などにより、端末でご利用のデータやファイルが破損したり消去されたりする可能性があります。破損したデータや消去したデータは復元できません。
- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
 - ー トンネルの中やビルの駐車場
 - ー 2層構造の高速道路の下
 - ー 高層ビルの群集地帯
 - ー 密集した樹木の間
- 長い時間 GPS による測位ができない場合、自車位置がずれたり止まったりする場合があります。このような場合でも、GPS の電波を受信してしばらく走行すると正しい位置に修正されます。
- 端末にペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。

microSD カードの取り扱いに関するご注意














- microSD カードは、端末に挿入された状態でお届けします。
- 端末は、microSDHC カード（8 GB ～ 32 GB、Class4/6/10）に対応しています。ただし、全ての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSDXC メモリーカードには対応していません。
- microSD カードを取り付ける、または取り外す場合は、端末の電源を必ずオフにしてください。電源がオンの場合、データや microSD カード自体が破損するおそれがあります。
- お持ちのパソコンなどで認識できている microSD カードが、まれに端末で認識しない場合があります。この場合、端末の SD カード初期化機能で microSD カードを初期化することによって認識できるようになることがあります。
 - － SD カード初期化を行うと、microSD カードに記録されたすべてのデータ（録画した映像ファイルなど）が削除されます。SD カード初期化を実施される前に、お客様ご自身にて microSD カードのデータバックアップを行ってください。
 - － SD カード初期化作業による microSD カードの不具合修復を製造元が保証するものではありません。また、本作業により、microSD カードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、製造元として責任を負えません。お客様の判断・責任のもとで SD カード初期化作業を実行してください。
- microSD カードの寿命は保証対象外です。

各部の名称と主な働き



端末について

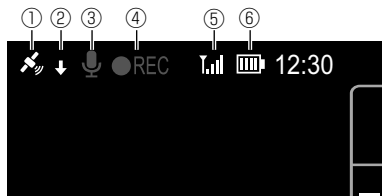
① 録画 / 応答ボタン (LED 付き)	緊急通報録画および着信時に使用します。
② 液晶モニター	端末のカメラで撮影するお車前方の映像や、録画映像、各種設定を行うための画面を表示します。
③ ステータス LED	端末の状態をステータス LED の色や点灯状態により示します。
④ 台座	端末をフロントガラスに取り付けるための部品です。⑪両面テープが接着されています。

⑤ マイク	通話時または録画時に音声を集音します。
⑥ ミニ USB 電源端子 (DC IN 5V)	付属の電源ケーブルのミニ USB コネクタ⑳を接続する端子です。
⑦  /  /  /  /  / +ボタン	[各種操作] 画面で選択操作や数値入力に使用します。録画した映像を再生する画面で各種操作に使用します。
⑧ メニュー / 次へ /  /  / 決定ボタン	[各種設定] 画面の表示や決定操作に使用します。録画した映像の再生画面で各種操作に使用します。
⑨  /  /  /   / -ボタン	[各種操作] 画面で選択操作や数値入力に使用します。録画した映像を再生する画面で各種操作に使用します。
⑩ カメラ	お車前方の映像を撮影します。
⑪ 両面テープ (はくり紙付き)	台座をフロントガラスに貼り付けるために使用します。
⑫ 端末固定ネジ	端末と台座の固定や角度調整時に使用します。
⑬ 車速パルス入力端子	付属の車速パルスケーブルのミニジャック端子㉑を接続する端子です。
⑭ 電源ボタン	電源オフ時：2 秒以上押し続けると電源がオンになります。 電源オン時：押すたびに画面の表示 / 非表示が切り替わります。2 秒以上押し続けると電源オフ操作が可能になります。
⑮ スピーカー	端末の音声メッセージと警告音等が流れます。
⑯  / 中止 / Xボタン	各種設定を行うための画面で、戻る操作や中止操作に使用します。
⑰ microSD カード スロット	付属の microSD カードが装着されております。
⑱ リセットボタン	端末の動作が不安定な場合などに、強制的に端末を再起動するために使用します。ボールペンの先などで 1 秒以上押ししてください。
⑲ 給電インジケータ	端末の給電状態を確認できます。正しく給電されている場合は点灯します。
⑳ ミニ USB コネクタ	ミニ USB 電源端子 (DC IN 5V) ⑥に接続します。
㉑ ミニジャック端子	車速パルス入力端子⑬に接続します。

ホーム画面に表示されるアイコンについて






「ホーム画面」* 上部のステータスバーにはさまざまなアイコンが表示され、内蔵バッテリーの残量や通信状況など端末の状態を確認できます。

* 画面上部にアイコンのみが表示されている状態の画面です。



端末について

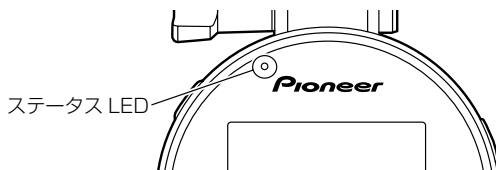
①		GPS を測位している状態（アンテナは電波強度を示します）
		GPS を測位できない状態
②		更新データダウンロード済み、次回起動時更新
		更新データダウンロード中／更新中
③		録音中
④		イベント録画中
		常時録画中
		ドライブレコーダー機能を利用できない状態

⑤	 ~ 	通信の電波強度
		通信圏外
⑥	 ~ 	内蔵バッテリーの充電状況

①～④のアイコンの並び順は図の通りにならない場合があります。

ステータス LED・正面ボタン LED の表示について

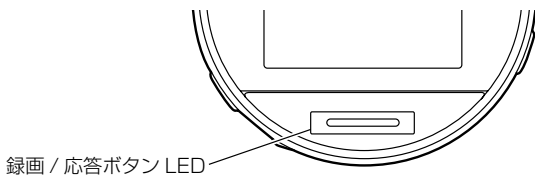
端末の状態をステータス LED および正面ボタン LED の表示で確認できます。



端末について

端末の状態	LED 表示
常時録画中	赤点灯*
イベント録画中	橙点灯
録画なし：録画不可能 (内蔵バッテリーのみで起動中、microSD カードの異常／未挿入／初期化中 など)	緑点滅
スリープ状態中または電源オフ時	消灯

* 常時録画中にイベント録画が発生したときは、橙点灯に切り替わります。



端末の状態	LED 表示
緊急通報録画	赤点灯

端末を取り付ける

取り付ける前に知ってほしいこと

⚠ 注意

- 取り付け作業は、あらかじめ通信圏内の平らで安全な場所にお車を移動・駐車してください。
- 台座の両面テープは貼り直すことができません。一度貼り付けて剥がすと、粘着力が弱くなります。貼り付ける位置および付属の電源ケーブルが届くように配線できるかを十分に検討してから貼り付けてください。
- 端末を取り付けるときは、お車の取扱説明書を確認して自動ブレーキなどの「運転支援システム」の妨げにならない場所を選んで取り付けてください。不明な場合は、自動車メーカー様、自動車ディーラー様にご相談ください。
- 保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条および細目を定める告示第 183 条（平成 25 年 11 月 12 日施行）、第 195 条（平成 28 年 6 月 18 日施工）をいいます。
- 端末は、フロントガラス取り付け専用です。フロントガラス以外や車室外には取り付けないでください。
- 必ずフロントガラスの指定の位置・寸法内に取り付けてください。
- 端末を覆ったり、カメラを汚したりしないでください。
- 端末を落としたり、端末のカメラ部分に触れたりしないよう、取り扱いには十分ご注意ください。
- お車によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。
- 取り付け作業は、空気中にゴミ、ほこりなどが少ない場所を選んで行ってください。
- 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをオンにしてフロントガラスを温めておいってください。
- お車のエンジンを切っても、端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車等）の場合、端末を利用しないときは必ず付属の電源ケーブルのミニ USB コネクタを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因となります。
- 取り付けにはメジャーなど距離の測れるものが必要となりますので、事前にご用意ください。
- 取り付けにあたっては、本書をよくお読みください。

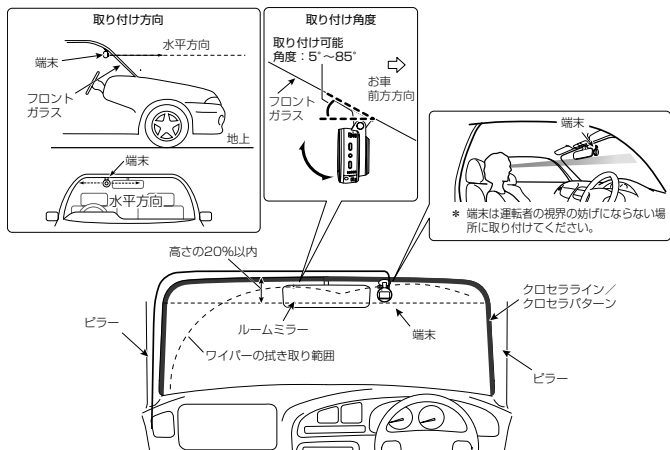
- 付属の電源ケーブルは、端末のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となります。また電源ケーブルは端末に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源ケーブルを使用した場合、端末の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルや車速パルスケーブルの被膜を切って、他の機器の電源を取るなど、分岐配線をしないでください。電源ケーブルや車速パルスケーブルの電流容量がオーバーし、ケーブルが過熱して、火災や感電、故障の原因となります。

初期動作確認

取り付け指定位置について

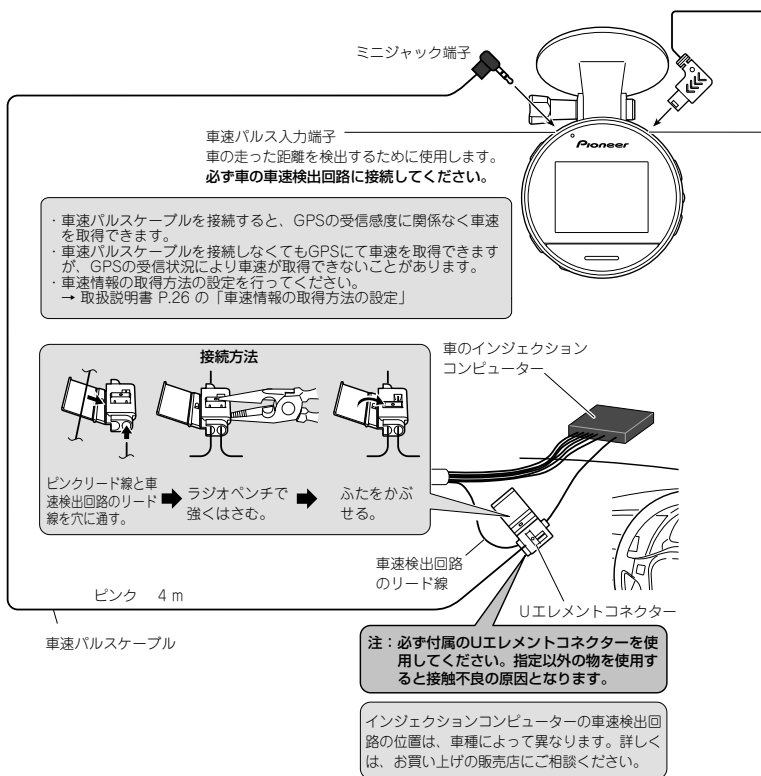
端末は、以下の条件をすべて満たすお車および位置に取り付けてください。

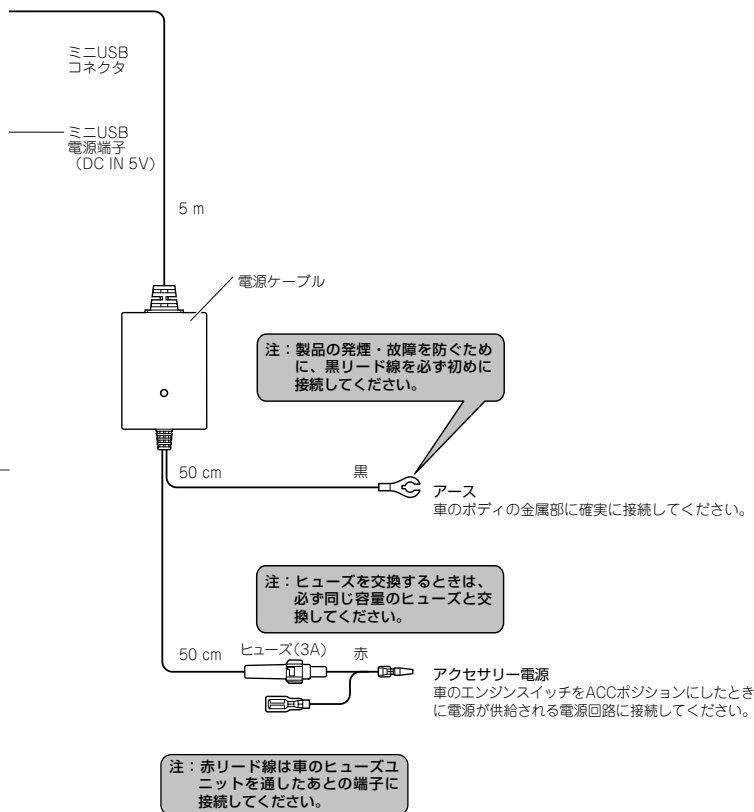
- 端末の全体がフロントガラスの高さの上縁から 20% 以内の位置（ウェザーストリップ、モール等と重なる部分およびマスキングが施されている部分を除く実長の 20% 以内の範囲）
 - ー ウェザーストリップ：ドアとドア枠の隙間をふさぐためのゴム製のパーツ。
 - ー モール：ウインドの周りのガラスとボディーの隙間をふさぐためのゴム製のパーツ。
- 端末のカメラ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- 端末のカメラ部分がサンシェードやクロセラライン・クロセラパターンにかからない位置
 - ー クロセラライン、クロセラパターン：フロントガラス端の黒色のドット部分。
- 車検ステッカーやルームミラーと重ならない位置
- 運転席から端末に手が届く位置
- 画面が見やすく運転者の視界の妨げにならない位置
- 運転支援システムの妨げにならない位置
- 端末が前方および左右に対して水平方向を向く位置
- 電源ケーブルと車速パルスケーブルが無理なく引ける位置



初期動作確認

接続図





端末の取り付け方

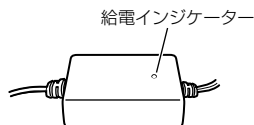
1 接続し、お車のエンジンをかけます

サイドブレーキがしっかりかかっていることを確認してから、エンジンをかけてください。

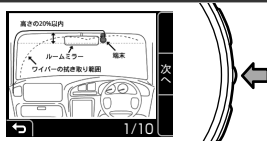
お車のエンジンと連動して、端末の電源がオンになります。電源がオンになると起動します。

メモ

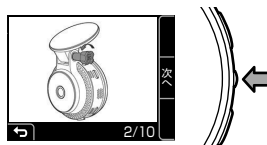
- 正しく給電している場合は、付属の電源ケーブルの給電インジケータが点灯します。



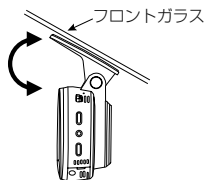
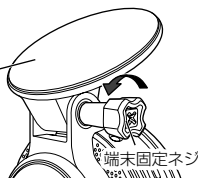
2 取り付け指定位置 (→ P.18)を確認し、端末の取り付け予定位置を決めたら、【次へ】ボタンを押します



3 端末固定ネジを緩め、フロントガラスの傾斜に合わせて端末が垂直になるように角度を調整して、【次へ】ボタンを押します



手順 7 に進むまで両面テープはくり紙を剥がさないでください。



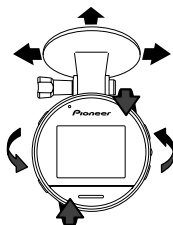
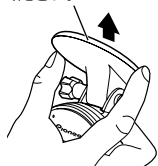
4

お客様のお車の前方映像が映りますので、フロントガラスに密着させた状態で、画面中央の十字マークを、お客様のお車の前方中央に合わせます

また、画面左側と下部の2箇所の緑色の範囲に白いバーが入るように調整します

画面下部の白いバーが緑色の範囲に入らない場合は、端末が水平になるように取り付け予定位置を変更してください。画面左側の白いバーが緑色の範囲に入らない場合は端末の前後の角度を変更してください。

手順7に進むまで両面テープはくり紙を剥がさないでください。



初期動作確認

5

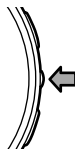
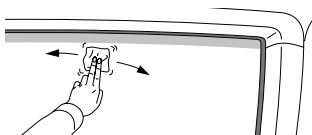
調整ができたら端末固定ネジを軽く締め、そのままの状態で【決定】ボタンを押します

自動的に取り付け角度の確認が行われます。手順6の画面が表示されたら、端末をフロントガラスから離してください。

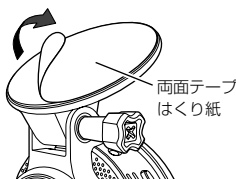


6

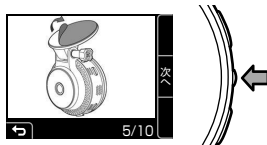
付属のアルコールクリーナーで取り付け予定位置の汚れ、油などを取り除いたら、【次へ】ボタンを押します



7 台座の両面テープはくり紙を剥がしたら、【次へ】ボタンを押します



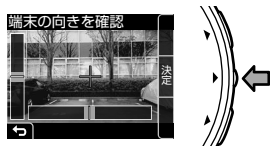
両面テープ
はくり紙



8 画面中央の十字マークを、お客様のお車の前方中央に合わせ、取り付け予定位置に端末を貼り付け、端末固定ネジをしっかりと締めたら、【決定】ボタンを押します

画面左側の白いバーが緑色の範囲に入らない場合は端末の前後の角度を変更してください。

適切な取り付け角度が適切かどうかを端末が自動的に確認します。確認中は動かさないでください。



⚠ 注意

- 手順6のフロントガラスの表面が乾いてから、台座を貼ってください。
- 台座の両面テープは非常に強い粘着力を持っています。一度貼り付けると貼り直しは困難なため、十分ご注意ください。
- 端末固定ネジがしっかりと締められていない場合は、頻繁に事故かどうかを確認する画面が表示されたり、危険挙動警告音が鳴ったりします。

9 【次へ】 ボタンを押します

しばらくお待ちいただくと安全運転に関するメッセージが表示されます。その後自動でホーム画面が表示されます。

初期設定が終了しました。
設定を変更したい場合は、メニュー内の各種設定から行ってください。

10/10

次へ



10 ホーム画面が表示されたら、端末上部のGPS表示および通信の電波強度が下図のように有効になっていることを確認します



×や圏外が表示されている場合、特殊加工ガラス等のため電波を受信できていないおそれがあります。



初期動作確認

11 お車のエンジンを切ります

お車のエンジンと連動して端末の液晶モニターが自動的に消灯し、スリープ状態になります。

商標・著作権

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。



- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



付録

主な仕様

共通部

使用電圧	DC 5 V (付属の電源ケーブル接続時)
最大消費電流	2.1 A
使用温度範囲	- 10 ℃ ~ + 60 ℃ (バッテリー動作を除く)

モニター部

画面サイズ	2 インチ
画素数	水平 320 × 垂直 240
方式	TFT アクティブマトリクス方式
バックライト	LED 光源

フロントカメラ部

映像素子	カラー CMOS センサー 1/4 インチ
画素数	有効画素 約 200 万画素
レンズ	焦点距離 f=1.14 mm F 値 2.2
画角	水平 120° / 垂直 61.2° / 対角 156.8°

マイク部

マイク	2 個
-----	-----

スピーカー部

スピーカー	1 個
-------	-----

microSD カード部

SPEED CLASS	Class 4 / 6 / 10
対応メモリ容量	microSDHC 8 GB ~ 32 GB (microSDXC メモリーカードには非対応)
ファイルシステム	FAT16/FAT32

GNSS 部

GPS	30 チャンネル マルチチャンネル受信方式
GLONASS	30 チャンネル マルチチャンネル受信方式
アンテナ	本体内部蔵

LTE/3G 部

データ通信方式-----UMTS/HSPA/HSPA + : バンド 1、6、19
LTE : バンド 1、3、19、21

Bluetooth 部

Bluetooth バージョン-----Bluetooth 4.1
プロファイル-----HFP/SPP/DUN/HID/GATT
出力-----Power class2

バッテリー部

リチウムイオンバッテリー-----容量 : 750 mAh

外形寸法

本体-----73.4 (W) mm × 92 (H) mm × 40.7 (D) mm

質量

本体-----約 160 g

電源ケーブル

入力電圧-----DC 12 V ~ 24 V
出力電圧-----DC 5 V
最大出力電流-----2.1 A
ケーブル長-----5.5 m

付
録

付属品

電源ケーブル-----1
車速パルスケーブル-----1
microSDHC カード (端末に装着済み)-----1
アルコールクリーナー-----1
SD カードアダプタ-----1
取扱説明書-----1
取付説明書-----1
保証書-----1

電波に関するご注意

端末は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。また、VCCI 自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合したマークを画面に電子的に表示しています。取得した設計認証番号およびマークはシステム設定で確認できます。詳細については、取扱説明書に記載されている「**法的情報を確認する**」をご覧ください。

- 端末は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって端末を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また端末は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

＊ 分解 / 改造すること。

- 端末の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、端末の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。端末は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

＊ 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、端末の無線機能を使うと、音声がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

- その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

＊ 火災報知器・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）

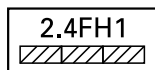
＊ 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム

＊ マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー

＊ 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）

＊ 自動制御機器・その他、Bluetooth[®] 対応機器や VICS

＊ アマチュア無線局（道路交通網システム）など



2.4 FH 1
① ② ③

- ①「2.4」 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ②「FH」 変調方式を表します。
- ③「1」 想定される与干渉距離（約 10 m）を表します。

付
録

パイオニア株式会社
〒113-0021
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

< CYR1217-A >